

路床・路盤小委員会

委員長：川端伸一郎（北海道科学大学）

幹事長：山中光一（日本大学）

◎ 活動目的

路床・路盤の剛性評価に関する各種手法やその精度，互いの相関性などを示し，より具体的な設計資料となるライブラリーや，舗装標準示方書内で示されている性能照査項目を対象とした設計例等を含めたガイドブックの作成を最終成果として目指す。

≡ 主な活動内容

- テーマに応じたWGの設置
- ライブラリー発刊に向けた既往研究の整理
- 関連研究の整理・検討
- ライブラリーの執筆

📅 活動スケジュール

- 2026年度：WGの設置，目次案の検討
執筆内容の整理，関連内容の検討
- 2027年度：ライブラリーの執筆，発刊申請
- 2028年度：ライブラリーの発刊

🎯 予定成果

- 路床・路盤の評価および設計に関するライブラリーの発刊
- 関連学会での成果論文発表

👥 募集対象

- 設計・施工・維持管理に関わる実務者
- 大学・研究機関の研究者
- 行政機関・発注機関の技術担当者
- その他，路床・路盤に関わる知見を有した技術者および研究者

✉️ 詳細情報の連絡先

- 👤 山中 光一
- 📍 日本大学理工学部交通システム工学科
- 📧 yamanaka.kouichi@nihon-u.ac.jp

アスファルト舗装小委員会

委員長：竹内 康（東京農業大学）

幹事長：永塚竜也（ニチレキグループ（株））

◎ 活動目的

本小委員会では、アスファルト舗装を対象にした設計法や材料に関する様々な課題について、歴史的背景を探求しつつ、国際動向等を調査する。そして、これらの活動を通じて、次世代に向けたアスファルト舗装技術の持続的な発展に資する情報の発信を目指す。

≡ 主な活動内容

- アスファルト舗装設計法の歴史的背景の探究（温故知新）
- 海外動向等を踏まえたターミノロジーの調査検討
- テーマに応じたWG・分科会の設置
- ライブラリー等の成果物執筆
- 講習会・シンポジウムの開催

🎵 活動スケジュール

- 2026年度：課題整理、情報収集、WG分科会体制の整備
- 2027年度：調査研究、事例整理、データ分析、成果物の執筆
- 2028年度：成果物の取りまとめ、発刊・報告会・講習会、標準類への反映

🎯 予定成果

- 舗装工学ライブラリーの発刊（試設計、ターミノロジーのまとめ）
- 土木学会での成果論文発表
- 舗装標準示方書への反映

👥 募集対象

- 設計(構造, 材料)・維持管理に携わる実務者
- 大学・研究機関等の若手・中堅研究者
- 行政機関・発注機関の技術担当者 等

✉️ 詳細情報の連絡先

- 👤 永塚竜也
- 🏢 ニチレキグループ株式会社
研究開発戦略本部 技術研究所
- 📧 nagatsuka.t@nichireki.jp

コンクリート舗装小委員会

委員長：西澤辰男（石川工業高等専門学校）

幹事長：前島拓（日本大学工学部）

◎ 活動目的

- コンクリート舗装に関する設計・材料・施工・維持管理技術を体系的に整理し、道路、空港、港湾などのコンクリート舗装のライフサイクルに基づいて、100年間使用できる合理的な管理技術を構築する。
- コンクリート版疲労解析シート、構造解析ソフト、CRCPひび割れ解析ツールなどを充実させ、実務支援、人材育成、国際的な技術発信等を通じて、コンクリート舗装技術の継承と発展を目指す。

🎯 予定成果

- SKYシート改訂版の公開
- 委員会活動報告書
- 論文・国際会議発表、国際会議の開催
- ライブラリ改訂の発刊
- 設計・解析支援ツールの構築
- 舗装標準示方書の改訂準備

☰ 主な活動内容

- SKYシートの改良・汎用化
- 理論設計および新材料に関する技術整理
- 長寿命区間や補修事例の調査・分析
- コンクリート舗装に関連する材料・施工・維持管理技術の体系化
- 講習会、論文投稿、国際会議(BESETO等)を通じた情報発信

-分科会の構成(案)-

- 1)構造設計・理論分科会
- 2)材料・工法分科会
- 3)供用性・維持分科会

👥 募集対象

- 大学・高専等の研究者
- 道路、空港、港湾などの舗装管理者・行政担当者
- 舗装・セメント関連企業技術者
- 設計・施工・維持管理に携わる実務者

📅 活動スケジュール

2026年度：SKYの改良・汎用化，分科会体制の整備(重点検討項目の整理)，BESETO等への論文投稿・国際発信，2025年度までの成果整理・論文投稿

2027年度：重点項目の検討，コンクリート舗装の長寿命化に資する材料・施工・維持管理技術の体系化，長寿命区間・補修事例の調査・分析

2028年度：成果の取りまとめ・委員会活動報告書の作成(ライブラリの作成・発刊)，報告会・講習会の実施，設計・解析支援ツール(SKY，Pave3D等)の高度化

✉️ 詳細情報の連絡先

👤 前島 拓

🏢 日本大学工学部

📧 maeshima.takuya@nihon-u.ac.jp

橋面舗装小委員会

委員長：久利 良夫（京都大学大学院）

幹事長：馬場 弘毅（ニチレキグループ（株））

◎ 活動目的

橋面舗装は、舗装、防水層および床版が一体となって機能する特殊な構造であり、長期耐久性の確保と適切な維持管理が重要である。

しかし、橋面舗装の設計、材料、施工および維持管理に関する知見を体系的に整理した技術資料は十分に整備されていない。

そこで、各分野の専門技術者が知見を収集・整理し、総合的な技術資料（ライブラリー）として取りまとめ、橋面舗装に携わる技術者の技術力向上、技術継承および橋面舗装分野の発展に貢献することを目指す。

≡ 主な活動内容

- 調査研究・文献調査の実施
- テーマに応じた分科会・WGの設置
- ライブラリーの執筆
- 講習会の開催
- 土木学会全国大会における研究討論会・共通セッションの開催
- 分科会の構成
 1. 設計分科会
 2. 材料分科会
 3. 施工分科会
 4. 維持管理分科会
 5. 解析分科会

🎵 活動スケジュール

第1期：2023年2月～2028年5月

2026年度：損傷・補修事例収集とりまとめ
ライブラリー執筆

全国大会研究討論会

全国大会共通セッション

2027年度：ライブラリー発刊
講習会

全国大会研究討論会

全国大会共通セッション

🎯 予定成果

- ライブラリーの発刊
- ライブラリー講習会の開催
- 土木学会全国大会における研究討論会・共通セッションの開催

👥 募集対象

- 大学・高専・研究機関等の研究者
- 行政機関・発注機関の技術担当者
- 舗装・維持管理関連企業の技術者
- 設計・材料・施工・維持管理に携わる実務者

✉ 詳細情報の連絡先

👤 馬場 弘毅

🏢 ニチレキグループ（株）技術企画部

📧 banba.k@nichireki.jp

舗装維持管理小委員会

委員長：川名 太（東京農業大学）

幹事長：粟本 太郎（建設技術研究所）

◎ 活動目的

舗装の維持管理を対象に、最新情報の収集や供用後の材料・構造の劣化損傷に関する予測・評価方法などの技術的な蓄積を図り、報文の発表や標準示方書改定を通して舗装の維持管理に関する技術の向上並びに社会貢献を目指します。

≡ 主な活動内容

- 標準示方書維持管理編の課題整理
- 文献調査等による最新情報の整理
- 下記に関する調査研究
 - 1) 維持管理の原則・方法
 - 2) 供用後の舗装材料・舗装構造の性能予測・評価方法
 - 3) 維持管理の材料・設計・施工方法
 - 4) 持続可能性やカーボンニュートラルに対する維持管理の対応
 - 5) デジタル技術を活用した維持管理
- インフラ健康診断（路面（舗装））の実施
- 成果の執筆・公表

🎵 活動スケジュール

- 開催頻度：3か月に1回程度
（対面またはweb）
- WG設置：複数のWGを設置予定
- 各年度のスケジュール
令和8年度：課題整理、情報収集、調査研究計画作成
令和9年度：情報収集、調査研究
令和10年度：調査研究、成果のとりまとめ
令和11年度：成果の最終とりまとめ、成果物の執筆・公表、標準示方書への反映

🎯 予定成果

- 調査研究報告書の取りまとめ
- 関連する学会等への成果報文の発表
- ライブラリーの発刊
- 標準示方書への成果の反映

👥 募集対象

- 舗装の維持管理に関連する知見や技術に関心を持ち、当小委員会の活動期間を通じて継続して参加することができる研究者、実務者、行政担当者等を募集します。
- 特に、中堅・若手の研究者および実務者の積極的な参加を期待します。

✉️ 詳細情報の連絡先

👤 幹事長：粟本 太郎

🏢 (株)建設技術研究所
東京本社CM・施工管理センター

📧 tr-awamoto@ctie.co.jp